



沖 縄 県 教 職 員 組 合  
情 宣 部 発 行  
第 57 次 教 育 研 究 中 央 集 会  
1 1 ・ 5 速 報 2

教研基本目標

- (1) 憲法と「子どもの権利条約」に基づいて、平和を守り、  
真実を貫く民主教育の確立を
- (2) 子どもを中心にした教育改革と教育の自由の確立を

沖教組第五七次  
高教組第四三次

# 教育研究中央集會あいさつ

沖縄県教職員組合 中央執行委員長 山本 隆司

沖教組第57次・高教組第43次中央教育研究集會に参加の皆さんご苦勞様です。また、本集會準備のため奔走されました多くの関係者の皆さんにあらためて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の総選挙において政権交代が行われ、民主党中心の政権が実現し、民主教育や平和に対して大きな期待を集めました。今年、参議院選挙において再度与野党逆転し、またもやねじれ国会になっています。

民主党を中心とする政権はこの間、子ども手当・高等学校授業料無償化・教職員定数改善など一定評価できる教育施策も実現しました。しかし、米軍基地に関する問題、全国学力テスト・教員免許更新制・新指導要領押し付けなど、大きな不満の残るものも多々あります。

今、県内では最大の政治決戦である沖縄知事選挙がとりくまれております。県民の総意である軍事基地のない平和な沖縄・民主的で自由な学校教育・豊かで自律的な沖縄を求めて、沖教組・高教組では、伊波洋一さんを組織推薦し全力でたたかっております。

教育・学校の世界も、「中央集権」から「地方分権」、「競争原理」から「共生・共同」、「画一化」から「多文化共生」の世界観に大きく価値転換する必要があります。たとえば、文部科学省の全国一斉学力テストに代表される「学力向上」は学校に何をもちたらしめたでしょうか。画一化された教育内容を一律に押しつけ、その達成度を序列化することにより、まさしく「差別選別」の教育を押しつけてきました。

教研集會で行っているような研究活動は、教職員の直接業務に関わる内容で、本来勤務時間内に公費で行うべきものです。しかし、明治以来、戦

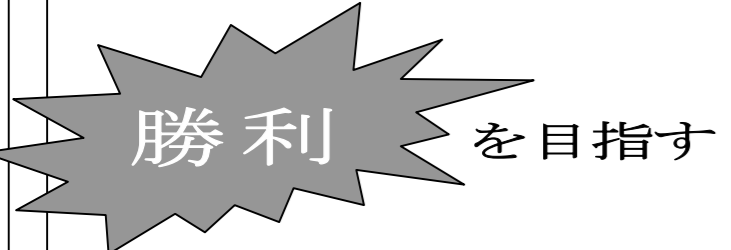
前戦後を問わず、日本の教職員に教育研究・研修の自由も裁量権も保障されてきませんでした。言うなれば国・権力からの教育研究の押しつけに対する対抗軸として、労働組合や民間教育団体の教育研究活動が発展してきた経過があります。本来の教育研究は、国や政府のためや労働組合のために行うものではありません。当然、目の前の子どものために行うものです。私たちはこれまで、いわゆる「官製研修」に対しても「自主・民主・公開」原則を求めてきました。

日教組の教研集會は全国各地津々浦々から、あらゆる教育内容の領域を超え、60年あまり継続し、多くの教職員・保護者・子ども達が綿々と積み重ねてきました。このような大規模で系統的な教育研究活動は、世界的にみても例がありません。長年の教研の歴史の中で、多くの典型実践が生まれてきました。

昨今の財政危機や学校の多忙化の中で、教職員の勤務実態は大変厳しいものがあります。今一度、私たち教職員は教育現場や子どもたちに責任をもった研究職・専門職であるという自覚を持ち、毎日の教育実践に臨む必要があります。

ここ沖縄においても57年あまりの歴史をもつ教研集會の意義と成果をみつめ、民主的な学校教育・子ども達の幸せのために組合教研に集う意味を確認し、2日間の教研集會の成功のために頑張ります。

## 一 洋 八 伊



### 県民総決起大会 に あなたも参加を

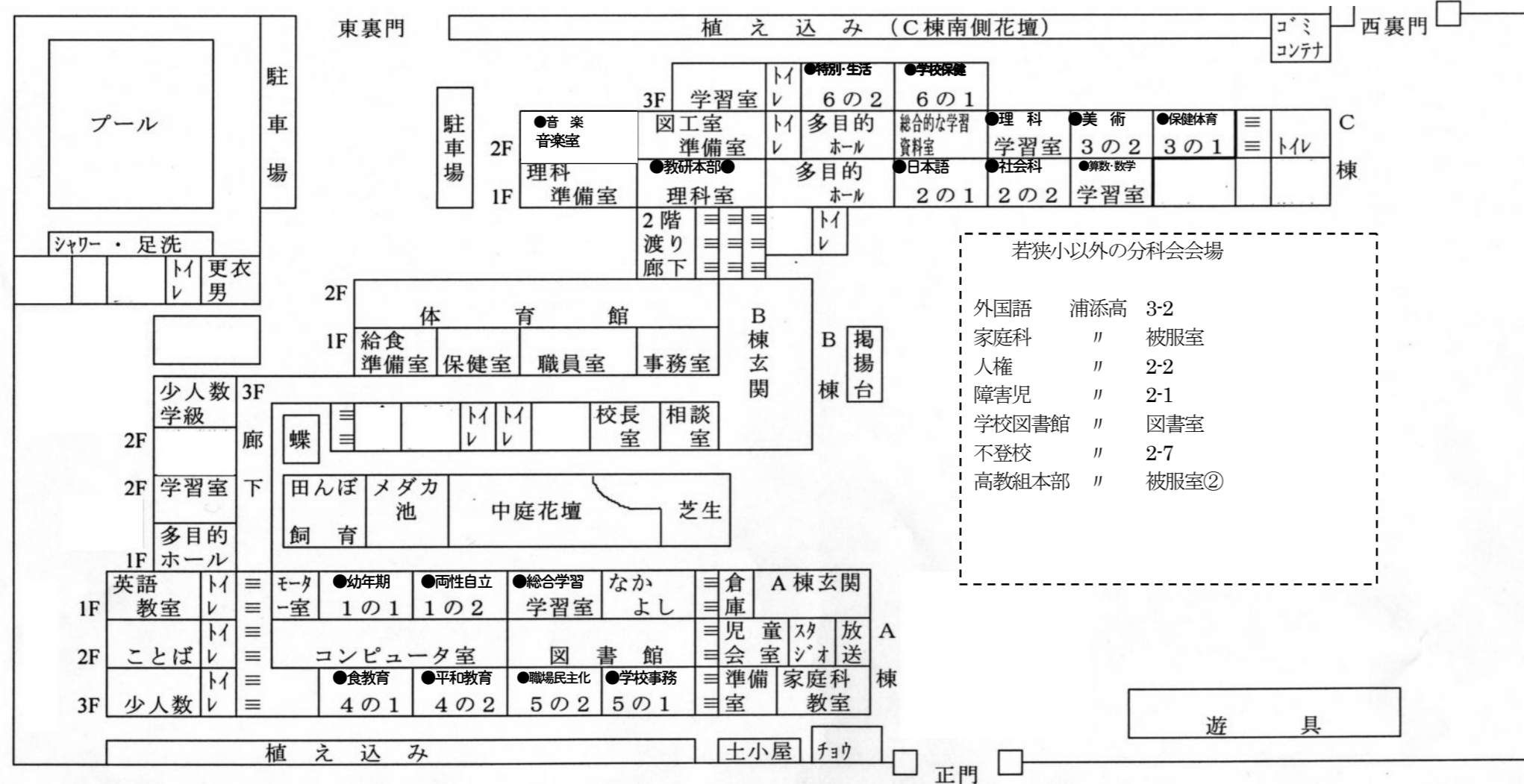
- ・ 県立武道館(那覇 奥武山)
- ・ 11月7日(日)14時

当然、教員の地位利用に当たりません。主権者として参加できます。

# 分科会割り当て教室の案内

## 若狭小学校会場

若狭小学校を会場とする分科会配置図



## 歓迎のご挨拶

教育研究中央集会の参加者の皆さんへ

沖教組那覇支部執行委員長 宮城 達

### 闘い・運動こそ要求実現の第一歩！

昨年8月の総選挙は、国民各階層がきっぱりと自公政権拒否の審判を突きつけ、戦後始めて国民が明確に望んだ政権交代を成し遂げました。しかし、その後の民主党政権の経過は、特に「教育改革ストップ！」の現場の実態や声に背反し、自公政権以上の教育反動化の道を突き進んでいると指摘しても過言ではありません。子どもと現場を苦しめる3点セット（全国学力・学習状況調査、教員免許更新制、教職員評価）の廃止、根本的改革の公約にも全く手をつけず、子どもの貧困と格差、教育の疲弊は進行するばかりです。

このことは政治の革新や、子どもの全面発達の立場に立った教育の民主化、私たちの要求は私たち自身が広く父母・国民と結びついた運動・闘いでしか実現できないことを示しています。

### 「構造改革」と「教育改革」「子どもの貧困」のストップ・克服を！

「自公」政権のもたらしたものは国民生活の総破壊と教育・学校を襲う困難化の進行でした。「構造改革」では新たに500万人以上の非正規雇用を生みだし、多くの「働く貧困層」「ネットカフェ難民」あふれさせ、また「三位一体改革」は地方財政を疲弊させ、社会保障制度の大後退・削減は大量の医療・介護・福祉難民を生み出すなど、まさに社会と家族をずたずたにしています。社会の貧困は家庭、子どもへと進み、今や日本の貧困率はOECD諸国でもワースト1、2のランクです。

「教育改革」も現場教職員が息つく間もなく加速化・実施されました。教員評価、教員免許更新制などの教員統制と競争化、副校長・主幹制導入を中心とした校長権限の拡大、学校選択制、全国学力一斉テスト、学校評価とそれにもとづく資金配分、学校統廃合など矢継ぎ早に導入され、組合の弱体化、教員の協同性の後退などともに、教育と学校を壊し、子どもや教職員の生活を困難にし、心と体の健康まで奪おうとしています。

### 昨年度の成果を土台に！

昨年度、沖教組は組合運動の歴史的後退の中でも顕著な成果をあげました。第一は組合存立の要とも言うべき組合員の飛躍的拡大です（沖教組＝250名以上）。第二は9年連続の賃金、ボーナス削減の中でも、一時金としても全教職員に一人8万円の還元を勝ち取った事です。この事は彼我の厳しい関係の状況でも、道理と運動力で組合自体の拡大や要求を実現できることを明らかにしています。組合員全体がこのことに確信を持つことが重要です。私たちの二大要求はあくまで「構造改革NOー！」と「教育改革ストップ！」です。昨年の成果を土台に、更なる沖教組の飛躍的拡大と、父母・国民と連携を深め、大運動を起こしましょう。

### 教育研究運動の前進を！

沖教組の運動の大きな伝統の一つが教育研究運動です。政府・財界、文科省の管理統制を受けない、まさに「子どもに真実を！教育に自由を！」の立場で営々と続けてきました。真に子どもに向き合い、真理・真実を科学的な方法で教え、父母・県民と連帯し、学校を地域に開かれたコミュニティセンターにしていく自由で創造的な教育研究運動！その灯火を今年も受け継ぎさらなる発展に向けて奮闘しましょう！



## 車利用の方へ

若狭小学校のグラウンドを理駐車場として借用しています。西裏門から入って、係りの指示に従って利用をお願いします。

### 聞かせて！あなたの感想

阿部 彩 さんの講演はいかがでしたか。感じられたことなど教研本部にお寄せください。明日の教研速報に掲載いたします。

受付の回収箱に入れてください。

情宣部速報係

困ったときは

教研お問い合わせ電話（番号通知をお願いします）

090-8832-5443